

令和 6 年度

行田市立見沼小学校

交流体験



特 色

- 生活科や総合的な学習の時間に関わる体験的な活動を通し、児童相互の交流や理解を深めることをねらいとしている。
- こま回し等の昔遊び、大正琴、水墨画など伝統文化を多く題材にし、児童が保護者とともに挑戦できるよう工夫している。
- 学校と地域が一体となって活動できる行事であり、両者の結びつきがより深まるきっかけとなっている。

児童の感想

- 昔の遊びはあまりやったことがなかったけれど、やさしく教えてもらったので、すぐにできるようになった。（低学年）
- 水墨画を近くで見ると、とてもきれいだった。地域の方に作品をたくさん褒めていただき、とても嬉しかった。（高学年）

成 果

- 体験活動に取り組む中で伝統文化への興味や関心が高まった。
- 親子で楽しくコミュニケーションをとる姿が見られ、親子の絆が深まった。
- 児童は本行事を通して普段交流する機会が少ない地域の方とも関わることができ、接する中で地域への愛着を深めている。